

平成24年度 第2回「学校運営協議会」会議録

- 1 日時 平成24年9月21日（金） 午後3時から4時30分まで
- 2 場所 長狭高等学校 文化ホール
- 3 参加者 出席者12名（欠席 2名） [この他に、千葉県教育委員会4名、本校職員12名]
- 4 司会 T教頭（全体） F委員（報告）

5 次第

- (1) 開会のことば
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 校長あいさつ
- (4) 千葉県教育委員会あいさつ
- (5) 報告

ア コミュニティ・スクール活動（中間報告）について

(ア) 平成24年度 鴨川市高校受験対策講座

資料1により説明 事務局

(イ) おもしろ科学実験教室

資料2により説明 事務局

(ウ) 平成24年度中学生・高校生との交流会

資料3により説明 事務局

(エ) 書道パフォーマンス

資料4により説明 事務局

(オ) 進路状況について

資料5により説明 事務局

(カ) 部活動報告について

資料6により説明 事務局

M 委員 鴨川市高校受験対策講座について、今回は定員50名に対して77名が参加していますが、これから参加希望者が増えることも予想されます。効果も上がっているというアンケート結果も出ていますが、需要に対してどう対処しますか。

事務局 今回は予定していたよりも参加者が多く、これ以上は増えないと考えています。また、送迎のバスの都合もあり、これ以上は増やせません。定員は50名が限度だと考えています。

F 委員 来年度も定員は50名で行いますか。もし、それ以上の希望者がいたらどう対応しますか。

事務局 本年度と同程度ならば対応ができます。あまりにも定員を大幅を超えるような場合には、中学校にお願いして参加者を精選することを考えております。

I 委員 入学募集定員160名に対して、何人の講座受講者が入学していますか。もっと増やしてもいいと思いますが。

J 委員 同じ意見です。中学生が夏の段階で志望高校を絞れるとは思いません。むしろ、もっと参加人数を増やしたらいかがですか。先生方のみで中学生への対応ができないのであれば、城西国際大学の大学生にもぜひ協力させていただきたいと思います。

校長 そうですね。希望する生徒を増やすような取り組みや、希望があれば受け入れることも今後必要だと思います。多様な視点から発想を変えていくことも大切です。

N 委員 中学校としては、3年生が部活動を引退し、進路について考える時期に実施していただき有難うございます。中学生は、高校の先生がどう教えてくれるのか興味があり、入試対策という点でも魅力があるので、これからも続けてほしい。多様な生徒がいるますが、魅力を考えると、精選していくのは難しいと思います。参加したい生徒が参加できないのは残念です。送迎バスなどを工夫して、受け入れていただきたい。

B 委員 中高大の交流会という事業に鴨川市としても興味があります。このような取り組みを鴨川市としても企画したいと考えています。その際には、協力をお願いします。

校長 中学生・高校生との交流会では、大学生も入れての交流会の開催を県教委にお願いしました。多くの方々の協力があり、中高大の交流会を開催することができました。中高大という違う年代が一同に会して、これまでに経験のない一日を過ごせたと思います。鴨川市には、県立高校1校・中学校3校・小学校10校でこのような会を行いやすい環境にあります。また、2つの大学があることから、日常的に児童・生徒・大学生が意見を交換できる場があると良いと思います。何よりも参加した児童・生徒・大学生にとって、とても勉強になったと思います。

これまでの日本の教育は、“読み・書き・そろばん”が重視されましたが、これからは、“聞いて話す”というリテラシーが非常に大切です。アメリカでは授業の中にディベートやスピーチディスカッションがありますが、こういう教育を受けてきていない日本の子どもは苦手になっています。その点も含めて、参加した子供たちはとてもいい経験ができたと思います。

I 委員 夏休みの学生ボランティアについては、早めの連絡をお願いします。

E 委員 鴨川市受験対策講座について、I委員・J委員と同じの意見です。

C 委員 中高大の交流会について、B委員と同じ意見です。気になるところも、校長先生に説明していただきました。

A 委員 改めて、他校にない色々な取組みをされていることに驚きました。

イ 今後の活動について

(ア) 強歩大会について

資料7により説明 事務局

F 委員 鴨川市市民は、何人くらい参加していますか。

E 委員 昨年は悪天候で中止しました。一昨年は、市の生涯学習課職員が2名、60代の市民の女性が2・3名の参加でした。

I 委員 救護班のために学校医・養護教諭はどのように配置しましたか。

事務局 生徒については、職員が分担し対応するなど安全対策はとりました。

I 委員 市民の方の場合はどうしましたか。

E 委員 参加されている市民の方は、普段からウォーキング等をしていると思うので、大丈夫だと思います。

Z 教頭 昨年度は、鴨川市の広報などでも公募したが悪天候で中止になりました。事務局からのお願いですが、城西国際大の学生には協力していただいています。亀田医療大の学生にも協力していただけますか。

I 委員 在学中の生徒は CPR ができるくらいですが、医療については難しいと思います。

Z 教頭 強歩大会は長狭高校の名物行事として地域に発信してゆきたいと考えます。休憩場

所を提供していただいている長狭学園では、生徒と交流する時間もあります。

E 委員 城西国際大の学生には、歩きながら話をして大学のことなどを伝えてもらえるとい
いです。亀田医療大学の生徒にもぜひ参加をお願いします。

J 委員 交流の機会を増やすという意味で、大学の宣伝になりますが、市民への感謝を込め
て10月14日に本学の交流 Day というイベントを開催するので、ぜひ参加してくだ
さい。

J 委員 亀田医療大学にも自治会ができ、11月3日に初めての文化祭を実施しますので、
是非御来場ください。

事務局 毎年、長狭高校の文化祭に城西国際大学に参加していただき、留学生との異文化交
流をする機会があるなど、本校の生徒にも好評です。ありがとうございます。

(イ) ミニ集会の運営について

Z 教頭 資料8により説明。

E 委員 中学校の保護者の参加できますか。

Z 教頭 鴨川市の小中学校へは案内をする予定です。

J 委員 医療・福祉コースで学んだ生徒たちが、医療ツーリズムなど新しい地域の発展とい
う点で、次の新しい機会があることもテーマの中に入れてほしい。

I 委員 医療福祉に関して、地域・国の統計によると20年後には高齢者が全人口の50%に
なり、医療と福祉がたいへん大切になります。亀田医療大学としても、城西国際大学
ともコラボできたら良いと思います。

Z 教頭 J 先生・I 先生からいただいた意見をすべて実施できるかわかりませんが、ミニ集会
は毎年実施しますので、今日いただいた課題を次に生かし、発展的・継続的にできた
らいいと思います。

校長 地域の活性化という大きな全体構想を描きながら考えることで、他の福祉・医療・
観光などに発展すると思います。ですから、全体構想を見ながら将来の鴨川市の活性
化や大学・高校の役割などを考えるミニ集会が開かれると良いと思います。

6 その他

○コミュニティ通信について

コミュニティ通信により説明 事務局

○ミニ集会の開催と次回の学校運営協議会について

Z 教頭 ミニ集会 10月23日(火) 14時～

第3回学校運営協議会 12月 7日(金) 15時～開催予定

7 閉会のことば